

社会福祉 しずおか

No.791 **10**
2016 特別号

●平成28年 No.791 毎月1日発行 1部 50円 発行 平成28年10月1日

社会福祉しずおか10月号は特別号として
県内の中学生の皆さんにもお届けします。



編集発行

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会 〒420-8670 静岡市葵区駿府町1番70号

電話.054-254-5248 FAX.054-251-7508

http://www.shizuoka-wel.jp E-mail spcsw@shizuoka-wel.jp

福祉について考えよう

みなさんは「**県民福祉の日**」を知っていますか？

年に一度、みんなで福祉について考える日です。

静岡県では、全国に先駆け、なんと20年以上前の昭和63年から定められています。



なぜ「**県民福祉の日**」は、10月20日なのでしょう？

★クイズの答えは、この表紙のどこかにあります。探してみましょう！
ヒント:10月20日は1月1日から数えて294日目です。

“暮らし・安心・支え合い” 福祉のまちづくり県民運動

「**県民福祉の日**」を多くの人に知ってもらい健康福祉への関心を高めるため、様々な活動を展開しています。

① 広報活動

さまざまなグッズ(ちらし、ポスター、シール、クリアファイルなど)を制作・配布しています。



みなさんは、
見たことがありますか？
街の中を探してみ
てください！

② 「福祉のまちづくり絵画 コンクール」の実施

「やさしさでつながる福祉
(しあわせ)のまち」をテーマ
に県内小学生からたくさんの
応募がありました。



入賞作品は
展示会が開催され、
福祉カレンダーに
なります。



多発する災害!

災害が発生すると、被災地では多くの人困ります。
その方々を支えるためには、何ができるでしょうか？

災害が発生すると、どんなことが困るの？



家が壊れて住めないし、
必要な物も家の中…
片づけようにも仕事があるし、
家族だけでは無理だよ…



家に水が浸水して、土砂が
入ってくるし、家具が使えなく
なっちゃった…



避難所の生活もプライベートがないし、
ご近所さんともバラバラだし、
これまでの生活を取り戻せるかな…



地震の影響で
赤ん坊のミルクやオムツが
足りない… どうしよう



災害発生後の支援

遠くからでもできる支援

物資提供



募 金



応援メッセージ



他にも色々あるよ

被災地に行つてのボランティア活動

活動の様子



活動の様子



他人ごとじゃない!

近年、全国で様々な災害が多く発生しています。災害は、いつ、どこで、どんな災害が発生するかわかりません。これまでに発生した主な災害を確認しましょう。

新潟県中越沖地震

2007年7月16日／10時13分
新潟県上中越沖でM6.8の地震が発生。

新潟県中越地震

2004年10月23日／17時56分
中越地方でM6.8の地震が発生。

阪神・淡路大震災 (ボランティア元年)

1995年1月17日／5時46分
淡路島北部付近でM7.3の地震が発生。
死者6,434名、全壊104,906棟

広島土砂災害

2014年8月20日／3時20分頃
局地的な大雨により山が崩れ、
大規模な土石流が発生。

熊本地震

2016年4月14日／21時26分以降
熊本県と大分県で相次いで地震が発生。
最大M7.3、最大震度7。
死者98名、全壊8,146棟

東日本大震災

2011年3月11日／14時46分頃
三陸沖の宮城県牡鹿半島付近で
M9.0の地震や40mの津波が発生。
死者19,418名、全壊121,809棟

関東・東北豪雨

2015年9月9～11日
台風18号の影響で茨城県・栃木県・
宮城県で被害。

静岡県内の 最近の災害

- ①静岡市水害／2014年10月6日
台風18号による大雨で冠水と土砂崩れ
- ②小山町水害／2010年9月8日
台風9号による大雨で土砂災害
小山町雪害／2014年2月14～16日
豪雪により建物損壊やライフラインの停止
- ③西伊豆町水害／2013年7月17～18日
1時間に98mmの豪雨で浸水被害

いざという時のために、こんな日頃からの活動もあるよ!!

大きな被害があった、東日本大震災から5年以上が過ぎましたが、今も住み慣れた故郷から離れた生活をしている人が14万人以上もいるのを知っていますか。

私たちは、この震災で「支え合い」の大切さを教わりました。

日頃から、「支え合い」ができている地域は、災害が起きた時に、多くの人が助かっています。

みなさんは、普段から「支え合い」ができていますか？ いろんな人とつながっていますか？

お父さん、お母さん、兄弟（姉妹）、友だちはもちろん、ご近所さん、学校の先生やいつもお世話になっている方々とは、どうですか？

今一度、みなさんの住んでいる地域の「支え合い」について考えてみましょう。

災害を想定した様々な訓練



みんなの地域で行っている防災訓練！
すばやく行動するために訓練することは大切なこと。



地域の人たちに教えてもらいながら炊き出し訓練をやっているよ。

地域の人との交流



地域の人たちと知り合いになることで、ご近所さんに誰が住んでいる人がわかって、避難するときに助けられたり、助けたりすることにつながるんだ。



①「何かしたい！」その“きもち”がかたちになる

②やってみなきゃ分からない！あなたを変える、その一歩

③ひとりじゃない！同じ思いでつながっている仲間がいる

あなたにも
できることが、
きっとあります。



現役大学生の・ながた 瀬里菜さん、たなか 千晶さん、いなぎ 佑一朗さん、わたなべ 桃さん（インターン生）が一部編集しました。